

授業改善書

科目名	証券市場論
担当者	米山徹幸

授業の概要

授業では、①日本や世界におけるお金の動き、②金融・証券市場の仕組みや役割、③株式や債券など証券の発行市場と流通市場、④投資信託の仕組み、その流通市場などの基本を学びます。金融・証券市場での資金の調達・運用の両面から企業と投資家の動向を知って、その課題を考えます。

授業の問題点

- ① 授業は、各回とも講義向けの資料（PPT）を用意して基本をまとめ、市場のトピックスや事例を引用し、参考文献も適宜、紹介しながら進行しました。
⇒アンケートを見ると、「テキストなどの資料は適切でしたか」や「毎回の授業でテーマは明確にしめされましたか」が高い評価です。独自に作成した PPT 配布資料や関連資料の効用を確認できます。
- ② 「ノートを取りましたか」も高いスコアです。配布した PPT を各自のノートとなるように年々工夫した点もあるかもしれません。
- ③ 「授業外学習（予習や復習など）をしましたか」では、課外のレポートも授業で見直す作業をなんども行ったこともあり、学生は課外学習と思っていないのかもしれない。

学生の授業満足度

- ① 最初の授業で「受講する目的」「関心のある企業」を書いてもらい、11 月末その続編を書いてもらいました。授業では、できるだけ名前が出た企業を取り上げました。
- ② 「授業の内容はあなたにとって得るところのあるものでしたか」や「全体的に振り返って、授業に満足できましたか」で満足度の高い数字は、そんな点も評価にあるのかもしれませんが、それが「90 分の授業を適切・有効に使っていましたか」でのポジティブな回答につながるのでしょうか。
- ③ 日経/ダウ平均、円ドル相場、日米の代表企業の株価、日米の 10 年国債金利などを追う 2 回のレポートでは、金融・証券市場のメディア情報の入手を学び、2 回の小テストでは翌週にテスト内容を確認してフォローして、株式・債券・投信についての理解を確認するなど、

授業改善の課題と方策

- ① さらなる授業改善のポイントは、「授業の進捗を確認」しながら、授業内容の理解を図る点にあります。金融・証券の世界は毎日の暮らしの中に生きています。これを紹介しながら、もっと学生たちが授業に参加するスタイルをめざします。
- ② 具体的には、配布資料で身近な目に見える資料を用意します。
- ③ 期中のレポートでは、発表や討論の場を用意し、「楽しい」授業で、力まず、証券市場の基本を学んでいきます。

その他

--